

# 諏訪地域の概況

諏訪地方事務所

## 1 地勢

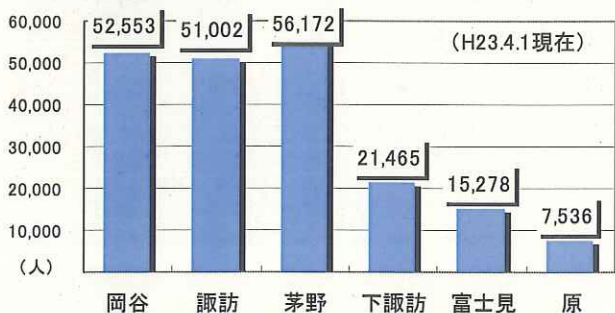


- 諏訪地域は、諏訪湖周辺の地帯と八ヶ岳山麓の広大な高原地帯からなり、行政区域が3市2町1村で構成される自然環境に恵まれた地域である。
- 総面積は諏訪湖を含め715.40k㎡（諏訪湖の面積：12.91k㎡）で、このうち森林面積が511.65k㎡、耕地面積が63.07k㎡で、それぞれ全体の71.5%、8.8%を占めている。

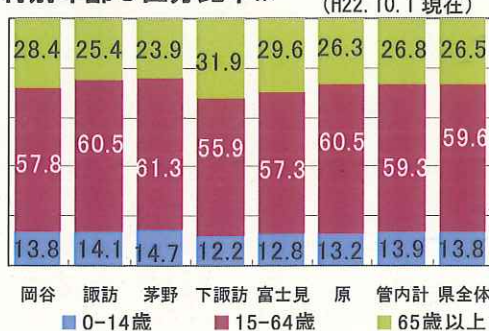
## 2 人口等

- 人口は、平成23年4月1日現在204,006人で、県総人口の9.5%にあたる。
- 高齢化率は、平成22年10月1日現在26.8%で県全体の高齢化率26.5%と概ね同率である。
- 産業別就業人口比率では、第二次産業従事者の比率が県平均に比べ約8ポイント高い。

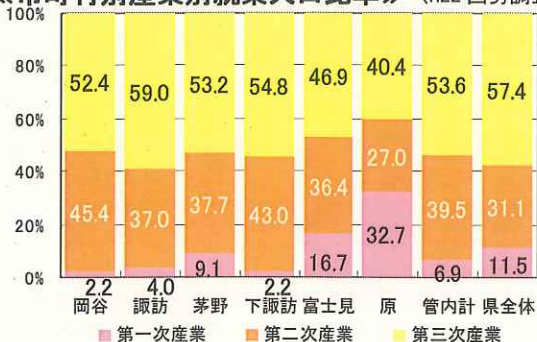
《市町村別人口》



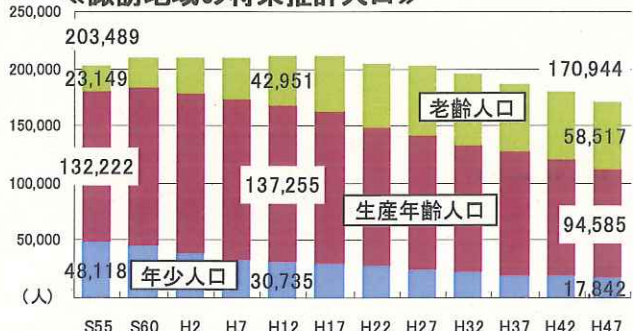
《市町村別年齢3区分比率》



《市町村別産業別就業人口比率》 (H22 国勢調査)



《諏訪地域の将来推計人口》

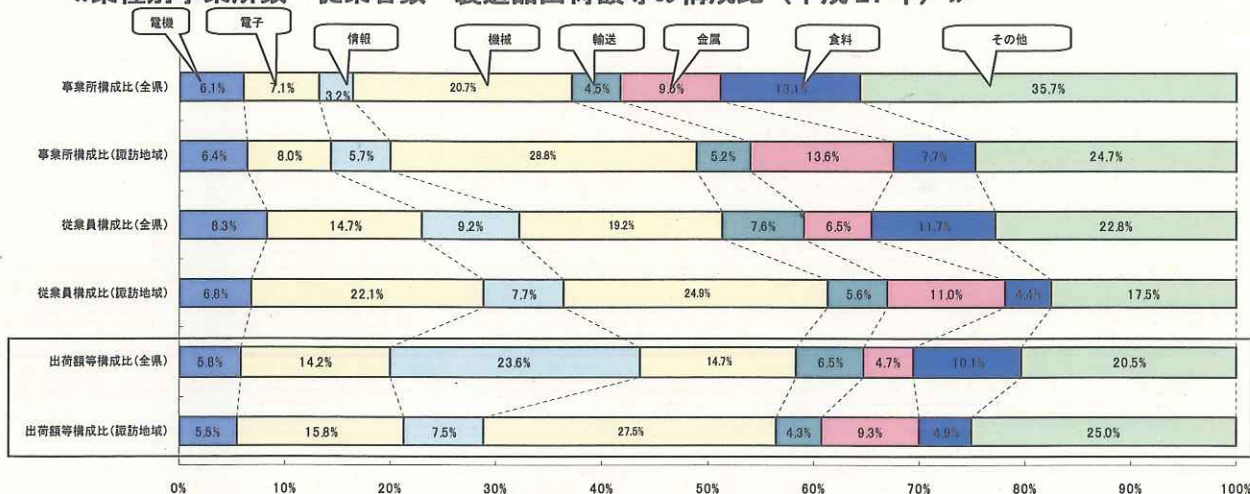


(資料：国勢調査、H27以降は国立社会保障・人口問題研究所推計)

【工業】

- 諏訪地域の製造業は、電機、電子、情報、機械、輸送の加工組立型産業に特化しており、精密加工技術、超小型製造技術等、高度な技術力を持った企業が集積している。
- 海外生産が加速する中で、事業所数、従業員数、製造品出荷額等は減少傾向にある。

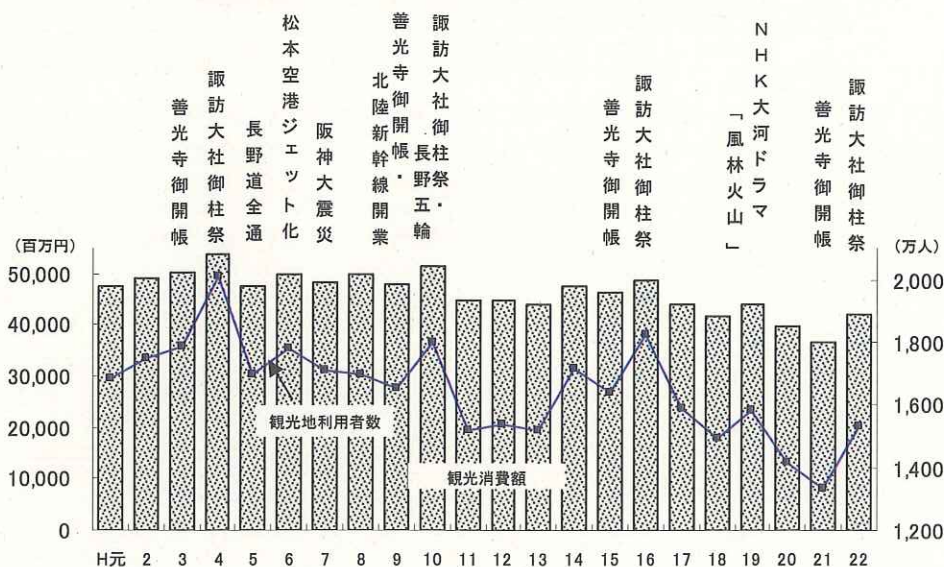
《業種別事業所数・従業員数・製造品出荷額等の構成比（平成21年）》



【観光】

- 県下10圏域で比較した観光地利用者は、1番多い(平成22年17.7%)が、平成4年をピークに減少傾向にある。
- 一人当たりの観光消費額は、平成元年以降、約2,800円前後で推移している。県下10圏域では、下から4番目となっている(平成22年県平均3,599円)。

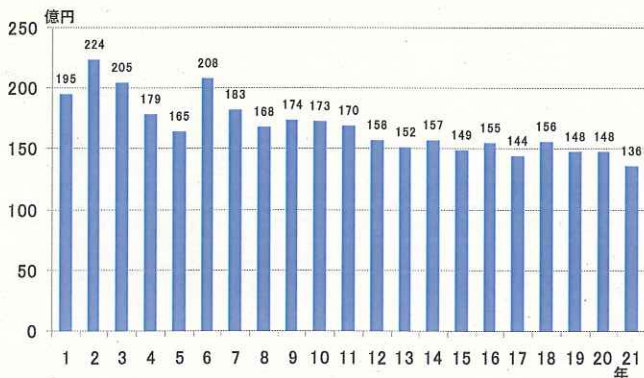
《諏訪地域の観光消費額・観光地延利用者数》



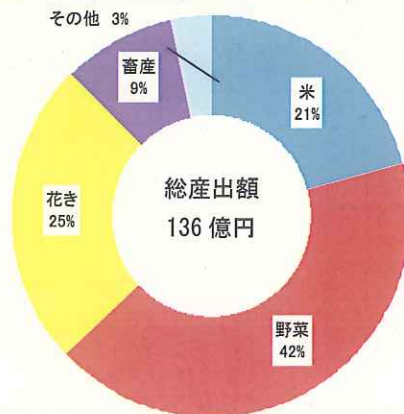
【農業】

- 諏訪地域の平成21年の農業産出額は136億円で、年々減少傾向にある。
- 主要農産物は野菜、花きで、全体の農業産出額の67%を占めており、野菜(セリ-)は主に東京方面、花きは主に大阪、東京方面に出荷されている。

《諏訪地域の農業産出額の推移》

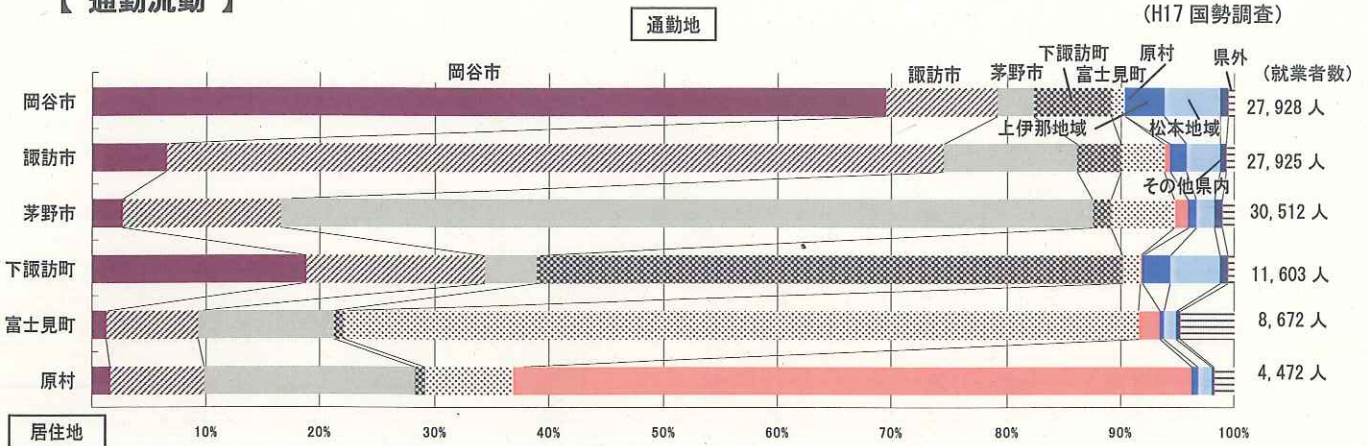


《諏訪地域の主要農産物の割合(H21)》

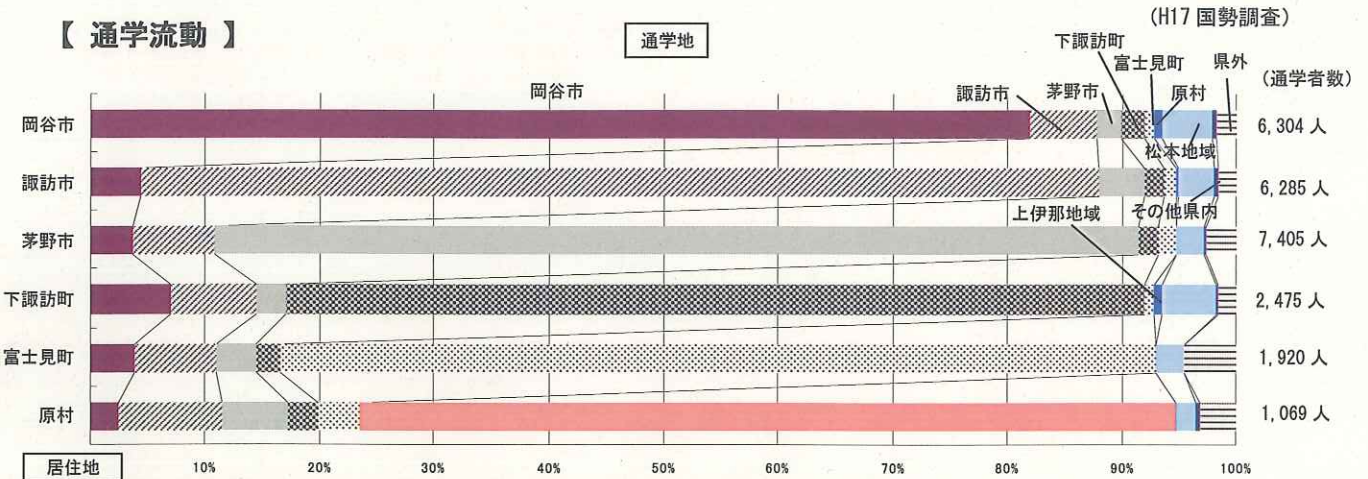


## 4 生活流動

### 【 通勤流動 】



### 【 通学流動 】



### 【 商圈の市町村別滞留・流出率 】

(H21 長野県商圈調査)

流出先 市町村	諏訪圏域						松本圏域		上伊那圏域				下伊那圏域	その他県内	県外	無店舗販売	合計
	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	松本市	塩尻市	伊那市	箕輪町	飯島町	中川村	富田村				
岡谷市	85.6	66.5	11.5	2.4	5.0	0.2	6.3	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2		0.6	0.9	5.8	100.0
諏訪市	90.0	4.2	69.0	14.9	1.8	0.1	2.0	0.2	0.1				0.1	1.1	2.6	3.9	100.0
茅野市	88.1	1.4	14.4	71.7	0.1	0.4	0.1	2.9	0.2	0.1	0.0			0.6	2.2	5.9	100.0
下諏訪町	89.8	36.0	16.4	3.5	33.3	0.6	3.1	0.7						0.6	1.6	4.2	100.0
富士見町	81.6	0.5	20.9	17.8	0.7	41.7								0.9	9.2	8.3	100.0
原村	88.7	0.4	24.5	52.5		6.3	5.0	1.5			0.2			0.2	3.5	5.9	100.0

- 諏訪地域の就業者の通勤地は、地域内が全体の9割以上を占めている。地域外では、松本地域へ約3%、上伊那地域へ約2%が通勤している。
- 通学地についても、地域内が中心となっているが、地域外では、松本地域への通学が約3%となっているほか、通勤地に比べ山梨県等の県外の割合が高くなっている。
- どこで買い物をしているかを示す商圈では、地域内が85%以上と主体となっているが、岡谷市においては松本市が6.3%、富士見町においては県外が9.2%と高い数値を示している。

## 5 観光客の回遊性等

### 【 主要都市からの距離・時間 】

区分	鉄道		道路	
	距離(km)	時間	距離(km)	時間
東京	200	約2時間30分	185	約2時間30分
名古屋	195	約2時間30分	210	約2時間45分
大阪	385	約3時間30分	370	約5時間

[H23 諏訪地方事務所調べ（諏訪市中心部までを想定）]

### 【 観光客の居住地 】

関東	東海	県内	近畿	北陸	中国・四国	東北	九州・沖縄	北海道	その他	未回答	計
555	189	140	68	30	11	7	2	2	4	3	1,011
54.9%	18.7%	13.8%	6.7%	3.0%	1.1%	0.7%	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%	100.0%

### 【 利用交通機関（複数回答） 】

自家用車	JR	貸切バス	路線バス	レンタカー	自転車	その他	計
688	158	113	38	37	8	46	1,088
68.1%	15.6%	11.2%	3.8%	3.7%	0.8%	4.5%	

### 【 訪問観光地 ① 諏訪地域（複数回答） 】

蓼科	上諏訪温泉・諏訪湖	諏訪大社（本宮）	白樺湖	諏訪大社（秋宮）	霧ヶ峰	車山高原	高島城	八ヶ岳	諏訪大社（春宮）	パノラマリゾート
256	246	219	205	186	182	143	78	72	67	67
25.3%	24.3%	21.7%	20.3%	18.4%	18.0%	14.1%	7.7%	7.1%	6.6%	6.6%

八島湿原	やまびこ公園	富士見高原リゾート	入笠山	横谷峡	八ヶ岳牧場	小坂観音	万治の石仏	奥蓼科	八ヶ岳自然文化公園	つるみね公園	計
46	38	35	33	27	27	25	23	22	18	1	2,016
4.5%	3.8%	3.5%	3.3%	2.7%	2.7%	2.5%	2.3%	2.2%	1.8%	0.1%	

### 【 訪問観光地 ② 周辺地域（複数回答） 】

松本・安曇野	美ヶ原	清里	佐久・軽井沢	善光寺	甲府	上高地	木曾
85	56	41	38	32	27	20	19
8.4%	5.5%	4.1%	3.8%	3.2%	2.7%	2.0%	1.9%

駒ヶ根	上田	白馬	高山	河口湖	天竜峡	高遠	計
17	13	11	9	7	6	4	385
1.7%	1.3%	1.1%	0.9%	0.7%	0.6%	0.4%	

[諏訪地方観光連盟 観光客回遊性調査報告書（H20年2月公表、諏訪地域を訪問した観光客1,011人からの聴取調査）]

- 諏訪地方観光連盟による諏訪地域を訪問した観光客からの聴取調査によると、観光客の入り込み先（居住地）は、関東が54.9%、東海が18.7%、県内が13.8%の順となっており、県外からの観光客の割合が高い。
- 利用交通機関について複数回答で尋ねたところ、自家用車が68.1%、JRが15.6%、貸切バスが11.2%の順となり、道路による移動が大きな割合を占めている。
- 諏訪地域内の訪問地（複数回答）は、蓼科が25.3%、上諏訪温泉・諏訪湖が24.3%、諏訪大社（本宮）が21.7%等で、地域内の複数の観光地を訪問する傾向となっている。
- 周辺地域の訪問地（複数回答）は、松本・安曇野が8.4%、美ヶ原が5.5%等となっている中で、県外地域も含まれており、清里（4.1%）、甲府（2.7%）、河口湖（0.7%）といった山梨県内が多いことが特徴となっている。